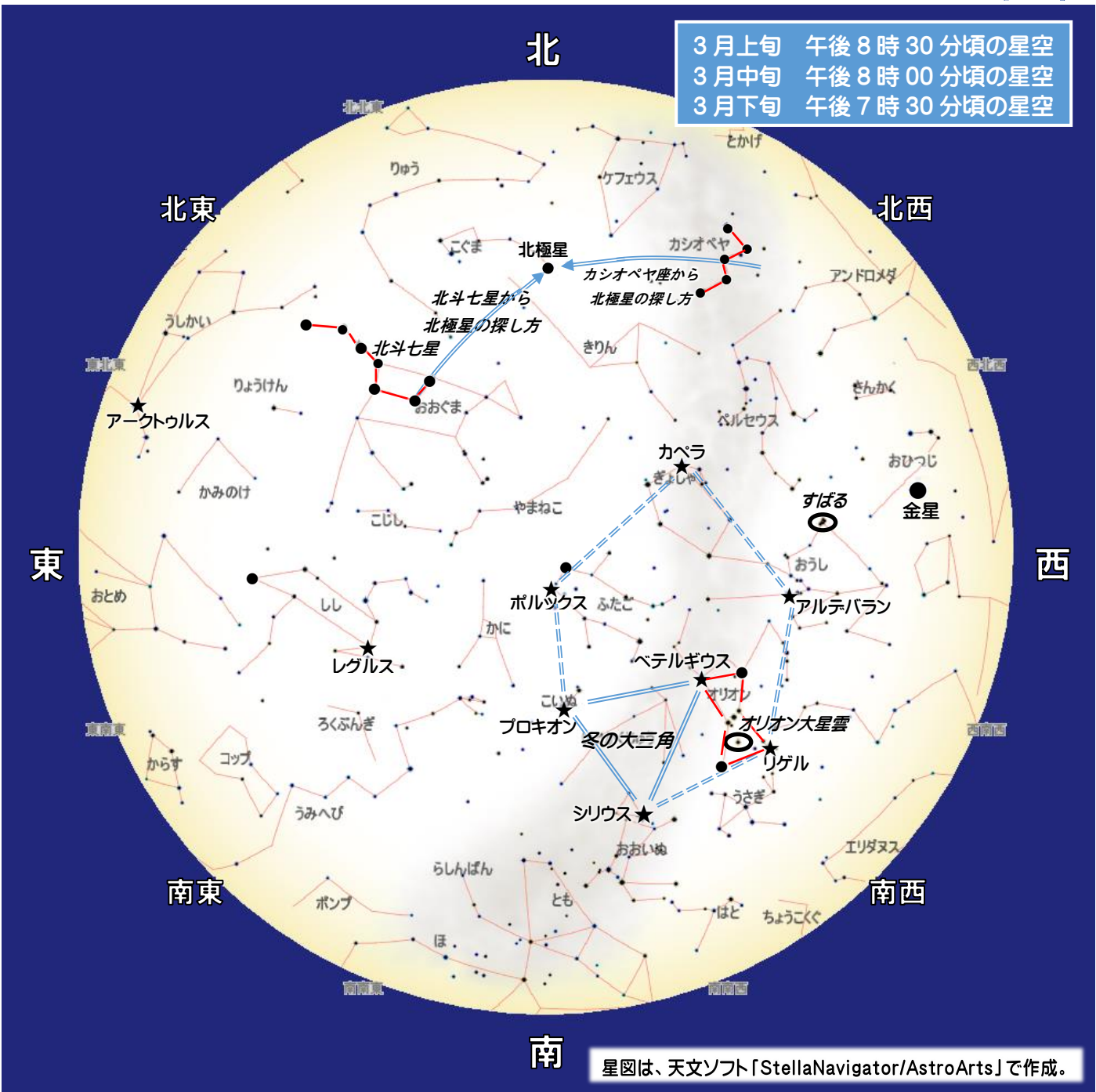


# 2020年 3月の星空案内



## 【3月の星空「冬から春の1等星」】

冬の星座の1等星、オリオン座の「ベテルギウス」と「リゲル」、おうし座の「アルデバラン」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、ふたご座の「ポルックス」、ぎょしゃ座の「カペラ」が、まだ空高く輝いています。

東の空からは、春の1等星の先駆け、しし座の「レグルス」が昇ってきました。しし座の目印は、はてなマーク(?)を左右逆にしたような『ししの大がま』です。

## 【太陽系の惑星】

「金星」が、宵の明星として夕方の西空に輝いています。25日に東方最大離角となり、望遠鏡では半月状に見えます。このあと観察を続けると、5月中旬まで、大きくなりながら三日月状に欠けていく様子が見られます。20日前後には、明け方の東空に、10月の大接近に向けて明るくなり始めた「火星(0.9等)」と「木星(-2.1等)」が並んで見えます。